

国立大学法人茨城大学人文社会科学野教員公募	
公開開始日	2026年5月21日
タイトル	映像メディア論教員公募
機関名	茨城大学
機関URL	https://www.ibaraki.ac.jp/index.html
部署名	学術研究院人文社会科学野人文社会科学領域
部署URL	http://www.hum.ibaraki.ac.jp/
機関種別	国立大学
公募のURL	https://www.ibaraki.ac.jp/employment/index.html
機関の説明(募集の背景)	茨城大学学術研究院人文社会科学野では、映像メディア論の研究・教育を担当できる教員を公募することになりました。
仕事内容	(1) 教育 (人文社会科学部専門科目)映像メディア論(2単位)、メディアリテラシー(2単位)、映像制作演習Ⅰ・Ⅱ(各2単位)、メジャー基礎ゼミナールⅡ(1単位)、メジャー専門ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(各2単位)、卒業研究、年度等により学科基礎ゼミナール(1単位)、メジャー基礎ゼミナールⅠ(1単位)などの担当もあり得る (人文社会科学研究科大学院専門科目) 資格審査の上、担当科目を決定する(2単位×2科目)。他に専門基礎演習(2単位)、課題研究演習Ⅰ・Ⅱ(計4単位)、年度等により社会科学研究方法(2単位)など (基盤教育科目)年度等によりチューデントサクセスセンターの基盤科目(1~2単位)、「大学入門ゼミ」(2単位)などの担当および教育関連業務 ※上記以外に基盤教育科目、研究科共通科目、他学部、他研究科の科目を担当することがあり得ます(主たる勤務地以外でも勤務いただく可能性があります)。また、今後の教育課程の再編成等により、上記以外の科目を担当いただく可能性があります。 (2) 映像メディアに関する学術研究や専門知識を生かした実践活動 (3) 関連の業務 大学・研究科及び学部の運営上の業務、社会連携活動など
研究分野	① 大分類(小分類) 人文・社会 (JREC-INの区分による) ② 大分類(小分類) ③ 大分類(小分類)
職種	准教授または講師相当 (JREC-INの区分による)
勤務形態	常勤(任期なし)
勤務地	関東一茨城県
主たる勤務所在地等	〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 国立大学法人茨城大学学術研究院人文社会科学野 ※主たる勤務地以外でも勤務いただく可能性があります。
募集人員	1名 准教授または講師
応募資格	国立大学法人茨城大学就業規則第4条の2[欠格事項]に該当しない方で、次の各号を満たす方。 (1)博士課程(博士課程後期)修了者、または博士課程(博士課程後期)に3年以上在籍し必要な単位を取得している者(採用予定日までの単位取得見込みを含む)、またはこれらと同等以上の学力・研究業績を有する方。 (2)大学院及び学部学生の指導に熱意を持って取り組める方。 (3)自身の研究に対して高いモチベーションを持って取り組める方。 (4)放送局(テレビ局、ラジオ局等)、映像制作現場における勤務または活動経験があり、放送・映像制作経験に基づいた実践的な教育指導が行える方(ただし、活動経験は報道・ドキュメンタリー以外の制作分野の経験があることが望ましい) (5)放送・映像メディア論に関する学術研究や専門知識を生かした実践活動ができる方。 (6)放送・映像メディア論に関する研究・教育面で全学に貢献する意欲のある方。 (7)放送・映像メディアにおける人権尊重、ジェンダー平等、コンプライアンスを論じることができる方。
待遇	賃金は年俸制となります。概算年収 准教授:600万円~900万円、講師:500万円~800万円 ※概算年収は、標準的な経歴を想定して算出した年収であり、採用時の職位や学歴・職歴等により変動します。その他待遇に係る詳細は、別紙「公募要項詳細」を参照ください。 ※大学に間接経費が措置される外部資金等を獲得した場合、間接経費獲得額の10%相当の額が手当として支払われる制度があります。
募集期間	2026年8月20日まで(必着)
着任時期(採用日)	2027年4月1日
応募書類(送付先を含む)	(1)履歴書 1通(写真添付、書式自由、市販用紙で可、連絡先には電話番号とe-mailアドレスも記入) ※履歴書には、必ず賞罰・処分歴を記載願います。特に、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分及び分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記載してください。 (2)「映像メディア論」13回のシラバス(授業計画)案(A4版、各回のタイトルと簡潔な概要) (3)放送・映像制作の活動実績(A4版 2000字程度) ※担当した番組、作品の内容、獲得した賞・視聴率、反響など (4)主要な放送・映像作品(番組、コンテンツなど)、著書、論文などのリスト(20件まで)。著書、論文等がある場合は原本又はコピー各1部、5点まで(それぞれ500字程度の概要を添付のこと) (5)教育についての抱負(A4判・1000字程度) 1部 (6)研究についての抱負(A4判・1000字程度) 1部 (応募書類提出先) 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 茨城大学人文社会科学野長 電話 029-228-8104 ※封書には「映像メディア論教員公募書類在中」と明記し、郵送(書留、簡易書留、レターパックプラス(赤))のいずれかに送ってください。応募書類が大量でこの方法では提出できない場合は、履歴書以外の書類については別便として宅配便での提出も可能です。 ※応募書類は原則として返却いたしません。返送を希望される場合はその旨を明記し、宅配便着払い伝票(宛名記入済のもの)と返信用封筒を同封してください。レターパックプラス(赤)またはレターパックライト(青)での返送を希望する場合は、宛名記入済のレターパックプラス(赤)またはレターパックライト(青)封筒を同封してください。ただし、返送先は国内に限ります。
添付書類	別紙「公募要項詳細」
選考内容	選考委員会で審査し、書類審査を通過した方のみを対象とし模擬授業・面接等を実施します。なお、その際の交通費はお支払いできません。学野教授会、全学人事委員会での審議の後、学長が決定します。
連絡先	公募内容に関してのお問い合わせは、学部等支援部水戸地区事務課(人文社会科学部)までお願いします。 電話 029-228-8104 Email:j-saiyo@ml.ibaraki.ac.jp 待遇・賃金に関してのお問い合わせは、総務部人事労務課人事係までお願いします。 電話 029-228-8013 Email:ninyou1@ml.ibaraki.ac.jp
備考	(1)本公募に関連して提出された個人情報は、「国立大学法人茨城大学個人情報の保護及び管理規程」に基づき本選考の目的に限って使用しますので、個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ございません。選考終了後は、採用された方の情報を除き、全ての個人情報は本学が責任をもって廃棄いたします。 (2)提出書類の記載に重大な詐称があった場合、採用決定が取り消される、又は解雇されることがあります。採用決定後に履歴書の内容について証明書等(在職証明証・修了証明書等)を提出していただきますので、記載内容に誤りがないようご注意ください。 (3)なお、外国籍の方は採用時に在留資格を確認する必要がありますので、採用決定後に在留カードの写しをご提出下さい。 (4)男女共同参画社会基本法の趣旨及び本学人事の基本方針に則り、女性の積極的な応募を歓迎します。また、業績等(研究業績、教育業績、社会的貢献、能力、資格等)の評価が同等と認められた場合には、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)第9条の規定に基づき、女性を積極的に採用します。 (5)茨城大学では、教職員の仕事・研究と家庭生活の両立のための環境整備や女性研究者の研究力向上と女性リーダー育成のための支援を行っております。詳しくは茨城大学ダイバーシティ推進室のホームページ(https://www.ibaraki.ac.jp/diversity/index.html)をご覧ください。 (6)産前産後休暇、育児・介護休業(性別問わず)などの事情による経歴、業績等への影響がある場合には、履歴書などの応募書類に産前産後休暇、育児・介護休業などを取得した旨を記載してください。そのことにより不利にならないよう本選考にて考慮します。 ※産前産後休暇、育児・介護休業など 産前産後休暇、育児・介護休業の他、育児・介護休業法に定める、出生時育児休業制度、所定労働時間の短縮措置(3歳に満たない子の養育のための短時間勤務制度)、対象家族の介護のための所定労働時間の短縮等の措置や男女雇用機会均等法で定める妊娠中及び出産後の健康管理に関する措置(医師等からの指導に基づく勤務の軽減、勤務時間の短縮、休業) (7)採用後は勤務事業場における業務に支障のない場所に居住すること。